

| | |
|--|--|
| 研究課題名 | Hemodialysis Vascular Sound Index (HVSI) とバスキュラーアクセスサーベイランス指標との関連の検討 |
| 研究の意義・目的 | 聴診器によるシャント音聴取は古くからバスキュラーアクセス診療に活用されておりましたが、従来の聴診は、経験や主観に依存し評価の再現性が乏しくスタッフ間の情報共有に限界がありました。最近使用可能になった電子聴診器 HVSI モニタはシャント音の情報を HVSI 値として定量化できます。今回、我々はこの HVSI 値と従来のバスキュラーアクセスの検査指標との関連を検討します。 |
| 研究を行う期間 | 機関の長の実施許可日 ~ 2029 年 12 月 |
| 研究協力をお願いしたい方 (対象者) | 2024 年 7 月から 2025 年 7 月までに当院で血液透析を施行した内シャントを有する患者さんが対象となります。 |
| 協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報等の項目 | 診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報： ① 患者基本情報：年齢、性別、身長、体重 (DW)、原疾患、既往歴、喫煙歴、透析歴、合併症、入院時病名、透析の曜日、心胸郭比 ② 血液検査：Hb、Ht、TP、Alb、S-Cre、eGFR、BUN、Na、K、Cl、Ca、P、CRP、Alb、AST、ALT、ALP、 γ -GTP、血清総コレステロール、トリグリセリド、HDL コレステロール、LDL コレステロール、空腹時血糖、HbA1c。 ③ 血圧 (透析前後) ④ 体重 (透析前後) ⑤ 透析条件 (測定時の QB、QS、QD、使用針、透析時間)、動的静脈圧 ⑥ バスキュラーアクセスの種類・治療歴 ⑦ バスキュラーアクセス機能・形態評価 ⑧ バスキュラーアクセスのモニタリング所見：HVSI 値、聴診・触診・視診 |
| 試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称 | この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科泌尿器病態学のみで行います。 【研究責任者】長沼俊秀 |
| 個人情報の取り扱い | この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。 |
| 本研究の 利益相反 | 本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 |

| | |
|----------------------------------|---|
| <p>研究に協力を したくない場合</p> | <p>診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。</p> |
| <p>連絡先</p> | <p>大阪公立大学医学部附属病院 泌尿器科 担当者氏名：長沼 俊秀 電話番号：(06) 6645-2366</p> |
| | |
| | |
| | |